

2017 年度 法学研究科 後期課程

2 月実施入学試験 論文試験問題

注意事項

- * 開始の指示があるまで解答を始めないでください。
- * 指定の六法および国際条約集以外は使用できません（字句の書き込みのあるものは使用できません）。
- * 出願時に届け出た科目で受験してください（科目変更はできません）。
- * 答案用紙は必ず 1 問ごとに 1 枚使用し、解答欄の冒頭に選択した問題の番号を明記してください。 例 → 「問題 1.」
- * 入試種別により試験時間が異なりますので注意してください。
- * 答案用紙上部の研究科名・専攻名・課程・受験科目名・受験番号・氏名記入欄を試験開始の指示があった後に、記入してください。

記入例：

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
法学研究科	法学専攻	後期	民法	310000000	立命 太郎

* 試験時間：後期課程

一般入試	10:00～13:00 外国語科目（2 科目） ※ 出願時届出者は、外国語科目 1 科目を専門科目に代えて受験
一般入試（法務博士用）	10:00～13:00 専門科目（2 科目） ※ 出願時届出者は、専門科目 1 科目を外国語科目に代えて受験
外国人留学生入試	10:00～12:00 論文試験（1 科目）

- * 論文試験終了後、博士課程後期課程の一般入試の受験者は、13：50 までに存心館 2 F 7 0 3 号（面接待機会場）に集合してください。
- * 論文試験終了後、博士課程後期課程の外国人留学生入試の受験者は、13：50 までに存心館 2 F 7 0 3 号（面接待機会場）に集合してください。

2017 年度 法学研究科 2 月実施入学試験 後期課程 論文試験問題

憲法

次の 2 問中から 1 問を選択して解答しなさい。解答の最初に選択した問題番号を明記すること。

1. 「立憲主義と民主主義」について論じなさい。
2. 日本国憲法における議院内閣制について、「国民内閣制」と「国会内閣制」のちがいを踏まえつつ、論じなさい。

民法

次の 2 問中から 1 問を選択して解答しなさい。解答の最初に選択した問題番号を明記すること。

1. 同一当事者間で二つの契約が締結された場合において、一方の契約のある債務について不履行が存在するとき、他方の契約をも解除することができるかについて、論じなさい。
2. 債権者代位権の転用について、具体例を挙げながら論じなさい。

刑事訴訟法

次の 2 問中から 1 問を選択して解答しなさい。解答の最初に選択した問題番号を明記すること。

1. 公判前整理手続を経た事件の公判において、被告人・弁護人が、刑事訴訟法 328 条にいう弾劾証拠を証拠請求することは許されるか。判例・学説の立場に言及して論じなさい。
2. 刑事裁判における情状鑑定のあり方について、刑事手続上どのように扱われるべきか、裁判員制度導入後の実務の動向に言及しつつ論じなさい。

以上